

REPORT

10/21(水)~11/1(日)

おおいた障がい者アート展 vol.2 「あやなす ひかり」

大分県立美術館において県内作家、福祉施設や支援学校から集めた全229点の作品展示、および「さをり織り」のインスタレーション展示を行いました。期間中は県内外から多くの方にご来場いただきました。今回はコロナ禍での開催となり、感染予防に努めるとともに、遠隔操作ロボット「アバター」による遠隔地からの鑑賞や、作家の制作風景を伝える動画の制作、ギャラリートークのネット配信等、新たな試みにも挑戦しました。



遠隔操作ロボット「アバター」を使用したギャラリートーク



「さをり織り」のインスタレーション展示

10/24(土)

「みえない + みえる = みる」 ～みんなで美術作品を鑑賞しよう～ vol.2

「おおいた障がい者アート展vol.2 あやなす ひかり」の会場にて、視覚障がいのある人となない人と一緒に作品を鑑賞するセミナーを開催しました。色、形、大きさ、モチーフといった「見えるもの」と、印象、感想、解釈、思い出したことなど、言葉にしなければ他者が知りえない「見えないもの」を言葉にする。そして複数で見て、共同で作品の魅力を発見するというもの。参加者からは、「言葉で説明しようとする、ただ目で見ていた時よりも深く見ることができた気がした」や、「鑑賞方法の一つとしてもっと多くの方に認知されるとよいと思う」などの感想が聞かれました。



作品を鑑賞する参加者の様子

Let's enjoy together



過去の活動の様子(館内ガイド)

第4期OPAMサポーターを募集します!

大分県立美術館(OPAM)では美術館と来館者をつなぐ架け橋として、ボランティアの方々にご活躍いただいています。

そして現在、2021年4月から一緒に活動していただくサポーターさんを募集しています。活動は、直接来館者に接するものから美術館の裏側での作業まであり、活動日時も様々なので、みなさんの性格やライフスタイルなどに合わせてお選びいただけます。ご興味のある方はぜひ一度、美術館ホームページをご覧ください。

募集期間

～2021年1月31日

活動期間

2021年4月1日～
2023年3月31日

活動例

- ・美術館内の案内
- ・コレクション展の案内
- ・展覧会チラシの発送
- ・図書資料の整理
- ・ワークショップの手伝い

修学旅行等の
受け入れについて



大分県立美術館とiichiko総合文化センターでは、修学旅行や社会見学の受け入れを行っています。学校や団体からのお問合せをお待ちしています。

問い合わせ:097-533-4007